2020 年度　部局 FD 活動報告

地域保健学域看護学類・看護学研究科

1.　FD 活動の実施体制、取り組みの概要

今年度は、前期は新型コロナウイルス感染拡大によって、セミナーなどの実施は見送った。後期には、人権ハラスメント委員会との合同セミナー、FD カフェ、ピア授業参観の企画を立て実施した。
総合リハビリテーション学類、教育福祉学類とは FD セミナー、FD カフェの情報提供を行った。

2.　FD に関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数
12 月 21 日	「学生指導とハラスメント」web 開催 第 1 部：講演、第 2 部：グループワーク 参加者全員がハラスメントに対する理解が深まり、有意義であったとのアンケート結果であった。	セミナー	32 名
3 月 11 日	第 1 回地域保健学域セミナーFD カフェ「コロナ時代の研究戦略」 内容はほぼ全員、役に立つという回答であったが、交流できたとの回答は約半数であった。	セミナー	36 名

3.　FD に関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
看護学類 FD 委員会	看護学類の FD 活動の企画、運営、評価	6 回	5 名
看護・総理は合同 FD 委員会	FD セミナー、FD カフェの情報共有	2 回	8 名

4.　FD 活動への各教員の参加状況

昨年度開催予定で中止となった FD セミナー「学生指導とハラスメント」をオンラインにて実施した。オンラインでの GW も取り入れ、参加者の満足度も高く、有意義との結果であった。FD カフェについても同様にオンラインで実施した。FD カフェは参加者間の交流が一つの目的であるが自由参加で行ったため、FD セミナーのように GW の設定ができず、実際には交流は難しかった。

教員数（実数）	49 人　／　　49 人中

5.　ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期	5 コマ （オンライン）	－	前期のピア授業参観は中止した。オンライン授業については、前期の科目も対象とし、学類延べ 114 コマ、大学院では 11 コマ提供された。提供数は増加し、参観者は述べ 13 名で昨年度より微増した。
後期	125 コマ	13 名	
年度 合計	125 コマ	13 名	

6.　その他取り組みの具体的実施状況

- 今年度は、看護学類･総合リハビリテーション学類合同 FD 委員会は開催せず、委員長・関係各所とのメール等を行い、連絡・調整に努めた。
- 昨年度開催できなかった FD セミナー、FD カフェについては、新型コロナ感染症拡大の状況を鑑み、オンラインで実施することになったが、次年度は状況を見て開催方法・内容の検討が必要である。
- 授業評価アンケートについては、積極的に教員にアナウンスを行い、コメントの入力率の向上を図っている。